

27年3月分 製品市場の荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成27年 2月20日～ 27年3月10日

2. 調査実施方法

全国の製品市場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
3月分の回答企業数は6社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		27年3月	4月	5月
入荷動向	国産材製材品	25.0	16.7	△ 8.3
	外材製材品	△ 8.3	8.3	8.3
	その他	△ 10.0	10.0	0.0
販売動向	国産材製材品	△ 50.0	0.0	△ 8.3
	外材製材品	△ 50.0	0.0	△ 8.3
	その他	△ 50.0	△ 20.0	△ 20.0
在庫動向	国産材製材品	25.0	0.0	0.0
	外材製材品	8.3	8.3	8.3
	その他	△ 16.7	△ 16.7	△ 16.7

・国産材製材品の入荷は3月、4月の増加が5月は減少に、外材は3月の減少から4月、5月は増加、
その他は3月の減少から4月増加、5月は横ばい。
・国産材及び外材製材品の消費は3月の減少が4月は横ばい、5月は減少、その他は3ヵ月連続して減少。
・国産材製材品の在庫は3月の増加が、4月、5月は横ばい、外材は3ヵ月連続して増加、その他は3ヵ月連続して減少。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目		27年3月	4月	5月
スギ	柱角 KD10.5×3	△ 16.7	△ 8.3	△ 16.7
	柱角 KD12×3	△ 16.7	△ 8.3	△ 16.7
	通し柱 12×6	0.0	0.0	△ 12.5
	桁角	△ 8.3	△ 8.3	△ 16.7
	母屋角	△ 16.7	△ 8.3	△ 16.7
	タルキ	△ 16.7	△ 8.3	△ 16.7
	間柱	△ 16.7	△ 8.3	△ 16.7
	加工板	0.0	0.0	△ 10.0
	ヌキ	△ 8.3	0.0	△ 8.3
	平割	△ 16.7	△ 8.3	△ 16.7
ヒノキ	柱角 KD10.5×3	△ 20.0	0.0	0.0
	柱角 KD12×3	△ 20.0	0.0	0.0
	土台角 10.5×4	△ 20.0	0.0	0.0
	土台角 12×4	△ 20.0	0.0	0.0
通し柱 12×6	0.0	10.0	10.0	
カマツ土台角10.5×4	—	—	—	
米マツ平角	0.0	0.0	△ 8.3	
米マツ割物	8.3	16.7	8.3	
北洋エゾマツタルキ	0.0	25.0	25.0	
北洋アカマツタルキ	0.0	20.0	20.0	

・スギ製材品の価格は、柱角、桁角、母屋角、タルキ、間柱及び平割は3ヵ月連続して弱含み、通し柱及び加工板は3月、4月の横ばいが5月には弱保合に。
・ヒノキ製材品は柱角及び土台角は3月の弱含みが4月、6月は横ばいに、通し柱は3月の横ばいが4月、5月はやや強保合に。
・米マツ平割は3月、4月の横ばいが5月はやや弱保合に、米マツ割物はやや強保合で推移。

・北洋エゾマツタルキ及びアカマツタルキは3月の横ばいが4月、5月は強含みに。

モニターからのコメント

(荷動き)

- ・雪と復興の遅れで入荷増加、アカマツWW入荷順調になり、米材入荷減少気味、販売は防音工事なくスギ材動き悪い、外材製品は在庫控え当用買いに徹している。在庫増加。
- ・実需が伸びず、入荷を控えている、春需の動きが見えない。今冬の在庫を処分し、入荷を控えているので在庫は減少。
- ・販売次第在庫補充するが回転率悪い。販売は3月に入っても好転なし、4月以降に期待したい。素材は出材減見込みも製品在庫に変わりはない。
- ・3月入るも荷動きは低調、特に国産材が悪い。価格もヒノキ材（10,9角、12.0角）が弱含み感あり。

(価格動向)

- ・スギ柱角（KD10.5cm、12.0cm）60,000円/m³、スギ桁角（東北グリーン材）40,000円/m³、母屋角（東北材）40,000円/m³、スギタルキ（東北材）45,000円/m³、スギ間柱（KD）66,000円/m³、スギ加工板（グリーン材）東2,800円、（KD）東3,800円、スギヌキ（東北）40,000円/m³、（秋田）50,000円/m³、スギ平割（プレーナー）45,000円/m³、同（ラフ）40,000/m³、ヒノキ柱角・土台角（KD）85,000円/m³、米マツ平角KD68,000円/m³、米マツ割物AD65,000円/m³、北洋アカマツタルキ（S）68,000円/m³、（P）58,000円/m³。
- ・スギ柱角は現状維持が精一杯。それ以外は住宅着工、リフォームともに仕事が減っている模様、並材の売れ行きも悪い。ヒノキは構造材の価格は夏まで現状維持だと思う。米マツは実需次第、エゾとアカマツタルキは現状維持。
- ・ヒノキ単価下落もあり、中京地区ではますますスギ需要は減少。ヒノキは並材の販売不振は変わらず。素材事情からは4月以降は相場上昇だが需要次第の面も。